

# 法人名 (財)山梨県健康管理事業団

公益法人用

## 【法人の概要】

代表者名	薬袋 健		所管部(局)課	福祉保健部 健康増進課		
所在地	甲府市宝一丁目4-16		電話番号	055-225-2800		
ホームページURL	http://www.y-kenkou.or.jp		E-mailアドレス	soumu@y-kenkou.or.jp		
資本金(基本財産)	4,536	千円	設立年月日	昭和58年4月1日		
主な出資者	出資順位	出資者名		出資額		出資比率
	1	山梨県		100	千円	2.2 %
	2	山梨中央銀行		50	千円	1.1 %
	3	甲府ロータリークラブ		10	千円	0.2 %
	4	市川ロータリークラブ		10	千円	0.2 %
	5				千円	0.0 %
	6				千円	0.0 %
	7				千円	0.0 %
	8				千円	0.0 %
	9				千円	0.0 %
	10				千円	0.0 %
	その他	団体(者)		4,366	千円	96.3 %
設 目 立 的 経 緯 概 況 等	県民の健康の維持・増進を図るため、地域医療と連携して各種検診・検査事業を実施するとともに、健康に関する諸情報の提供を通じ、地域の保健衛生の向上に寄与することを目的としています。					

## 【主要事業の概要】

事業名	内容	事業費(単位:千円)		
		H21年度	H22年度	H23年度
事業1	各種検診・検査事業 一般住民検診(地域保健)・胃がん検診等各種検診事業、生徒等の検診・検査(学校保健)、事業所検診(職域保健)を受託し実施	400,684	383,018	376,875
事業2	高齢者医療確保法に基づく各種検診事業 高齢者医療確保法に基づく特定健診・甲府市個別健診・特定保健指導を実施	53,855	51,274	52,940
事業3	救急医療情報センター運營業務 県から業務委託を受けて、県民からの医療機関及び当番医の照会に対して情報提供等を行う業務を実施	32,513	32,054	32,426

## 【組織】

年度	平成22年度					平成23年度					平成24年度							
	職 員	プロ パ ー	派遣 兼 務	県 職 員	県 O B	其 他	職 員	プロ パ ー	派遣 兼 務	県 職 員	県 O B	其 他	職 員	プロ パ ー	派遣 兼 務	県 職 員	県 O B	其 他
4月1日現在の人員																		
役員	理事(常勤)	1			1		1			1		1			1			
	理事(非常勤)	22		3		19	22		3		19	21		3		18		
	監事(常勤)	0					0					0						
	監事(非常勤)	4				4	4				4	4				4		
	評議員	0					0					0						
	計	27	0	3	1	23	27	0	3	1	23	26	0	3	1	22		
職員	管理職	5	5				5	5				4	4					
	一般職員	21	21				22	22				22	22					
	臨時職員	16	13		3		15	13		2		16	14		2			
	非常勤職員	9	7		2		8	6		2		9	8		1			
	計	51	46	0	5	0	50	46	0	4	0	51	48	0	3	0		
プロパー職員の年齢構成 (H25. 4. 1現在)	年齢	~20	21~30	31~40	41~50	51~60	61歳以上	合計		平均年齢	平均年収							
	男性			4	5	7		16	役員 常勤	※	(千円) ※							
	女性		1	3	3	3		10			職員 常勤	48	(千円) 4,082					
合計	0	1	7	8	10	0	26											

※常勤役員は1名のみであり、個人情報保護の観点から非公開

【経営の状況】

(単位:千円)

項 目		21年度	22年度	23年度	増減(23-22)
正味財産の状況	基本財産運用益	10	6	1	△ 5
	受取会費・受取寄付金				0
	受託事業収益	536,861	518,283	530,601	12,318
	自主事業収益	39			0
	受取補助金等	6,230	8,227	18,200	9,973
	その他の収益	10,881	8,848	11,245	2,397
	経常収入 計	554,021	535,364	560,047	24,683
	事業費	189,324	191,301	177,503	△ 13,798
	うち人件費	62,880	64,919	70,239	5,320
	管理費	347,363	341,784	370,162	28,378
	うち人件費	214,330	216,456	222,859	6,403
	経常支出 計	536,687	533,085	547,665	
	当期経常増減額	17,334	2,279	12,382	10,103
	経常外収入	50			0
	経常外支出	89	321		△ 321
	当期経常外増減額	△ 39	△ 321	0	321
当期一般正味財産増減額	17,295	1,958	12,382	10,424	
当期指定正味財産増減額					
正味財産期末残高	788,424	790,382	802,764	12,382	

(単位:千円)

項 目		21年度	22年度	23年度	増減(23-22)
財務状況	流動資産	227,814	227,595	232,106	4,511
	固定資産	775,573	788,295	797,765	9,470
	資産 計	1,003,387	1,015,890	1,029,871	13,981
	流動負債	33,743	39,573	40,746	1,173
	うち短期借入金				0
	固定負債	181,220	185,935	186,361	426
	うち長期借入金				0
	負債 計	214,963	225,508	227,107	1,599
	正味財産	788,424	790,382	802,764	12,382
	うち基本財産への充当額	4,536	4,536	4,536	
うち特定資産への充当額	433,707	426,761	484,065		

(単位:千円)

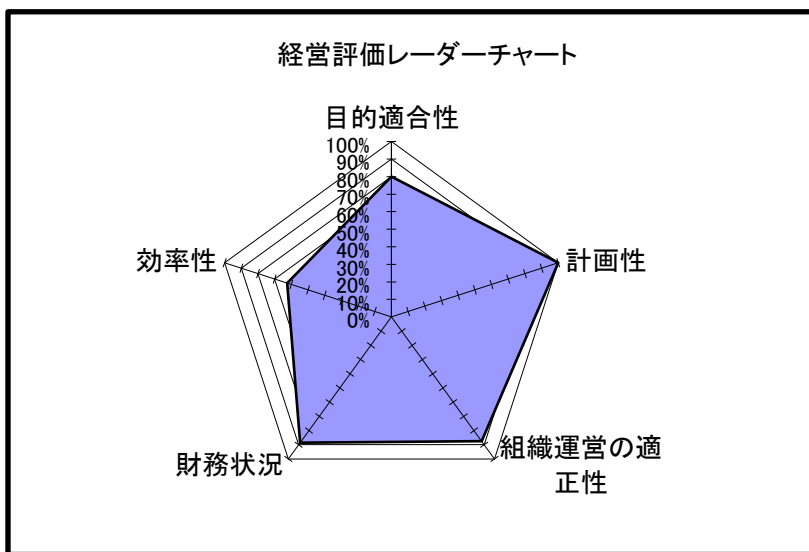
項 目		21年度	22年度	23年度	増減(23-22)
県の財政的関与の状況	負担金				0
	人件費(派遣法)補助金				0
	人件費(派遣法以外)補助金	5,180	5,147	5,120	△ 27
	人件費以外の補助金				0
	運営費補助金	5,180	5,147	5,120	△ 27
	事業費補助金				0
	補助金 計	5,180	5,147	5,120	△ 27
	人件費(派遣法)委託金				0
	人件費(派遣法以外)委託金				0
	人件費以外の委託金	32,513	32,054	32,548	494
	委託金 計	32,513	32,054	32,548	494
	県支出金 計	37,693	37,201	37,668	467
	県の財政的関与の割合(%)	6.8	6.9	6.7	△ 0
県貸付金残高				0	
県債務負担実際残高				0	

【県の財政的関与の内容・目的・金額】

項目	内容・目的・金額
負担金	
補助金(運営費)	事業団の経営を行うため、県OBの事務局長の人件費補助金
補助金(事業費)	
委託金	救急医療に必要な医療機関の応急情報などを、コンピューターを利用して迅速かつ的確に収集し、県民の皆様へ24時間体制で情報提供する「救急医療情報システム」の運営委託経費。
債務負担行為	

【自己評価・評点集計】:(経営評価算出表により、法人自らが評価した結果を記入)

評価の視点	評価ポイント	評価項目数	満点	評点	得点率
目的適合性	出資法人が当初の設立目的あるいは公益目的と適合した業務を行っているかを問う視点	5	20	16	80.0%
計画性	出資法人が長期的ビジョンを持って計画的に事業運営に取り組んでいるかを問う視点	5	20	20	100.0%
組織運営の適正性	組織・人事・財務等の内部管理体制が適切に整備、運用され、かつ情報公開による透明性の確保が適切であるかを問う視点	4	16	14	87.5%
財務状況	出資法人の経営の安全性や収益性を問う視点	11	44	39	88.6%
効率性	出資法人の組織の管理運営上における人的・物的な経営資源が有効活用されているかを問う視点	8	32	20	62.5%
合計		33	132	109	82.6%



【警戒指標】

--

【出資法人の自己評価】:(各評価の視点毎に、法人自らによる分析・検証の結果及び対応策を記入)

目的適合性	各種検診事業は競合検診機関との競合が年々激化し、事業量は減少し、設立当初とは事業団を取り巻く環境は大きく変化している。今後は事業団本来の事業拡大に向けた方策を検討し、実行していく。
計画性	22年度に胃胸部デジタル検診車を導入し、更に胃がん検診車2台をデジタル化を行った。また23年度には胸部検診車1台のデジタル化も行い、より精度の高い検診が実施できることとなった。今後は新施設整備に向けた計画を進め、経営の安定に繋げていく。
組織運営の適正性	検診機器のデジタル化に対応できるよう今後も医療従事者の確保が必要となる。また定年退職者も出るため、経営状況をみながら収入に見合った人員の確保を行っていく。
財務状況	月々の検診数や実施主体ごとの実施数を把握、分析するなかで、人件費や物件費など効率性を重視しながら経営に活かしていく。
効率性	検診事業は4月から10月にどうしても集中するため、いかにその繁忙期を平準化して効率性を高めていきたい。
総合的評価	近年、高精度の検診を目指し機器の整備を行ってきた。今後はソフト面における取り組みを強化していく。また、今後さらに収入の確保につとめ、経営の安定を図っていく。



対応策	今後は、職員の資質向上のため研修等を行い、専門的な知識の習得に努めていく。また、地域と連携し、公益目的に沿った検診事業の実施や顧客満足度を高めるため、高精度の検診施設の整備を目指し、役職員一丸となって積極的に取り組んでいく。
-----	--

【法人担当部局の所見】:(法人所管部局による各評価の視点毎の分析、評価)

目的適合性	県民の健康への関心の高まりなどから事業団にはより重要な役割が求められている。また、都市部から離れた中山間地等、移動に時間を要し、受診者数がさほど見込めない非効率で不採算な地域において、事業団が実施する健診が担っている役割、必要性は大きいと考えられる。
計画性	市町村健診閑散期における職域健診確保のための営業活動などを実施している。昨年度の胃・胸部併用デジタル検診車の整備に引き続き、胃・胸部撮影装置のデジタル化により検査精度の向上に努めるなど、経営計画に基づいた改革の着実な実行が認められる。
組織運営の適正性	定年退職を迎える職員数と新規雇用職員数のバランスを経営最適化の観点から十分に考慮する必要がある。H21年度に早期退職制度を導入し、組織のスリム化を進めている。また職員厚生の適正化の取り組みを実施し、自主自立の運営体制を図っている。
財務状況	外部の経営専門家(税理士等)による経営評価委員会を実施し、経営状況等の把握・事業の見直しに活かしている。厳しい経済情勢においても社会的必要から対応せざるをえない業務もありながら、収支状況の把握に努め、適正な状況での推移を維持している。
効率性	健診事業の繁忙期と閑散期の平準化の努め、年間を通じて効率的に健診業務を行なうことを目指している。特定健診事業については、保険者(市町村等)と協力し、地域組織等を通じて受診率の向上に努めている。非効率な業務があることも事実であるが、できる限りの事業の効率化を心掛けている。
総合的評価	職域健診を積極的に取り込むことで事業の拡大を図り安定経営を目指している。法人の社会的存在意義を踏まえて、一部不採算でありながら、社会的要請の強い部門への的確な対応を行っていることも評価できる。他の健診機関との差別を図り、良好な経営と収支向上が引き続き求められる。

【総合評価】:(経営評価委員会、経営評価アドバイザーによる総合評価)

今後更なる改善、見直しを行うべき視点	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">目的適合性</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">計画性</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">組織運営の適正性</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">財務状況</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">効率性</div> </div>
総合的所見	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 2px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;"> <b>A</b> (75%~)         </div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;"> <b>B</b> (60%~75%)         </div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;"> <b>C</b> (50%~60%)         </div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;"> <b>D</b> (~50%)         </div> </div> <p>・ 経営計画に基づく外部有識者による独自の経営評価委員会の設置や、経営分析や給与の見直しなど経営合理化・効率化に向けた努力が行われている。</p> <p>※ ランク下の%は得点率の範囲</p> <p>・ 中山間地域など、非効率な地域での検診業務といった公益的な役割を期待される法人のため、効率性のみを追求していくことは難しいが、各評価項目は良好な状態を維持している。</p> <p>・ 高精度の検診を行ない、顧客の獲得を行なっていくためには、継続的な設備の更新など経費の確保が必要とされることから、今後も、一層の経費削減や新規事業所の検診確保などに積極的に取組んでいく必要がある。</p>



【総合所見等に対する今後の対応方針】

<p>今後も健診事業の年間を通しての平準化に努め、合理化・効率化に取り組むとともに、新規事業所の開拓を進め、安定した経営を目指していく。</p> <p>また、超音波検診車の更新を図るなど、高精度な機器の整備を行っていくとともに、研修や知識の習得にも日々努め、実施主体や受診者の方々に満足していただける健診機関を目指し、役職員一丸となり取り組んでいく。</p>
---